

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西より発信

No. 232
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL 090-3710-4815
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう。卒業式には「仰げば尊し」を！

あけましておめでとうございます



日の丸行進の会（大阪）

毎月第3日曜日、午後 新阿波座公園に集合し、「祝日には国旗を掲げましょう。自衛隊の皆さんさんありがとう。」とコールし、また「うさぎ追一いしかの山〜♪」と歌いながら、御堂筋を行進。今月で113回。計算では10年になります。行進はデモ扱い。警察への届出が必要で、結構面倒くさいのです。「このような地道な活動が一番大事。」と継続に敬意を表し、「センスの良い活動」と紹介したいと思います。1月は17日(日)。鬼滅の刃で鬼退治とのこと。詳細・お問い合わせ 090-1146-7351 (代表 石黒大圓)

コロナに始まりコロナに終わった昨年。

≪情報 増木重夫

令和元年年末、中国は武漢市から広まったコロナ。瞬く間に世界中を震え上がらせました。日本でも緊急事態宣言。夏に一旦小康状態になったものの、初冬から爆発。今日に至っています。

NPO法人百人の会としましては、その影響で、この一年間勉強会・理事会を開けず、去年の総会は書面で議事を進行させていただくとい

う、弊会始まって以来の珍事になりました。各位からの情報は滞ることなく、一年間メールで、または≪情報で発信してまいりましたが、残念かな充実感には至っていません。

そして、台湾人日本国籍確認訴訟は、日本―台湾の正常な空路が確保できず、原告の台湾人が渡航できません。裁判所、弁護士同志の事務手続きは進行していますが、口頭弁論が開けないわけです。一日でも早い正常化を願っているわけです。

この鬱積した日々、いつものことながら思うのが、マスコミの無責任ぶりです。

す。〇〇トランプを「止めろ止めろ」のオンパレード。そして総理が「止めろ」と言って止めたところに「観光業界から悲鳴が聞かれる。」そんなこと当たり前やないか。「電車を止めろ！」止めたら、「駅は人であふれかえっています。」と言う。私がつづく思うのは、こんな無責任な連中の相手をしなければならぬ総理や大臣のご苦労。総理等の貴重な時間は国民の財産。それらが無駄に消費するマスコミに損害賠償を請求したいくらい。〇〇トランプがいいのか悪いのかはわからない。ただ、マスコミがいい加減なことを言うって、国民を振り回していることだけは間違いありません。一番悪いのは、そのようなマスコミに振り回される国民。マスコミのデータラメを信じてしまう、国民ではないでしょうか。そうそう、大阪では大阪都構想の住民投票の前、毎日新聞が嘘八百を書き市民を惑わせたのは記憶に新しいと思います。本年もしっかりマスコミのデータラメを監視していきます。

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会（理事長、辻淳子大阪市会議員）。2番艦「英霊を被告にして委員会」、3番艦「憲法一条の会」。4番艦「救う会大阪」。5番艦「台湾籍日本人支援の会」これらに頂だいたご意見等をM情報の責任で発信。

≪M 情報活動報告≫編集指針；政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

議案質問・議員・自治体等からの報告

「女性の〇〇」〇〇 って何のこりゃ?」

令和2年12月定例会
廿日市市会議員 広島県
R2-12-3 角田俊司

はだしのゲンが元気に生きついで

文字おじでできない質疑。2月下旬ころ、議会のエロに議事録が上がると思っています。それまでは取りあえず、左記のリンクで検証ください。マスクキ
<http://www.kensakusystem.jp/hatsukaichi-nod-video/R02/R021203-8.html?fbclid=IwAR0vicojTY-y3WUuRLwXNVV4OPq-3k4SdujW6K40Gaoz2zIowhb2ZkaKaYo>

1 戦後教育なまじいこと

(一) 今年には戦後75年。「平和と安全を求める被爆者達の会」によって、毎年8月6日に行われる平和宣言を読んだ。それは、「アメリカは明らかに戦争犯罪である原爆を日本に投下した」とある。そして、アジアを中心とした世界情勢の危機的な状況をみると、憲法前文のごとく「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」いれば、平和な世界が訪れるとは言い難いと述べ、「我が国も、核兵器禁止条約に加盟するのが戦後の平和主義にかない、全ての被爆者の願望だと言われているが、しかし、私達も同じ被爆者と被爆

二世としてそれに反論する。その条約は日米同盟を揺るがし、我國の安全を脅かすかも知れないのだ」と。そして、「核保有国が加盟しない条約で核兵器を無くせるのか? 憲法の平和主義だけで我が国は平和なのか?」と我々に問うている。今の教育現場で行われている平和教育についても、「戦争の悲惨さや怖さ」のみを教え、「日本がアジア諸国の人々に如何に酷いことをしたか」という一方的な自虐史観を子供達の純白な心に刷り込み、祖国や先人達への侮蔑や憎悪を植え付けるだけで終わっていると思っ。子供達に対する平和教育は、非現実的な憲法の前文のように「こわい良」という認識なのかを伺いたい。また、昨年6月ごろ一般質問した拉致問題については、「人権教育として必要な教材である」と認識している。学校現場では中学校より始めて教科部会で効果的な指導方法が深まるよう努力する」との答弁があったが、これ程の進展があったのかを具体的に伺う。(質問原稿より一部抜粋)

憲法改正は本気!

長崎市会議員 浅田五郎

R2年12月22日

「自民党の国会議員の皆さん、憲法改正

は本気!」

産経新聞 12月16日付で、「従軍慰安婦の言葉が復活する」について、1年度の検定で消え去った従軍慰安婦の言葉が、中学校の歴史教科書で復活することに、関係機関の団体が文科省を通して出版社側に、削除の要望書を出した、とありました。この記事を読んで本当にびっくりしました。教科書から一度削除された言葉が復活することなど、独裁国家ならいさ知らず、この日本で、安倍一強内閣の時代に本当に信じられませんでした。考え次第では、「文科大臣は責任をとって辞職する」、そのくらいの大問題だとの認識がないことです。政治家としてこれほどの屈辱はないのですが、それがわからないから辞職しないでそのままポストにおられるのではないのでしょうか。

野党は従軍慰安婦を掲載したいのですから、文科大臣の任命責任を総理には決って言わないでしよう。自民党に文教族がいなくなったらと思えるような状況なのに、政権党から文科大臣の更迭が出ないのも実にびっくりです。

今朝12・22付の産経新聞には「国土、国民を守るため憲法改正を」という内容で長州「正論」懇話会で櫻井よしこ氏が講演。その講演会に先立ち、特別ゲストの安倍晋三前首相と対談が行われています。安倍前首相は「時代にあわせ改憲は当然」と述べています。こうした民間のジャーナリストの方々が国土、国民を守るために憲法改正を日々叫んでいるのに、憲法改正ができる立場の国会議員が、一度消えた「従軍慰安婦」を、

日本の子供達に無償で与える教科書に、復活しても何にも感じない政治家集団が、本気で憲法改正に取り組んでいるのか、と思えてなりません。

まず憲法改正の前にその本気度を国民に示すなら、従軍慰安婦の復活を認められた文科大臣の辞職を求めるべし、高度な政治判断が自民党内で起こるかでしょう。それが出来なければ憲法改正はあり得ないのではないのでしょうか。

この意見に、政権党の国会議員に反論があれば是非お聞かせください。共に日本の子供達に、今の日本の憲法がいかなるものであるのか、そして、南京大虐殺事件・従軍慰安婦の問題など正確に子供達に教えていければと思っております。ご教示くださいれば、感謝です。

京都北山の神主 中村重行

我々国民は、自民党を保守政党とダメされてきたのです。憲法改正も、拉致被害者奪還も、北方四島返還も、竹島問題も、アメリカ力追従も、立憲民主党と自身は違わないのです。

立憲十民主党、自民党、自由十民主党、頭についている立憲も自由も単なる飾りです。自身は同じ民主党です。これからは自民党と呼はずに自由民主党と民主党を強調するように呼ばなくちゃ。以前も今も変わってはいません、単なる利権にしがみついた利権政党です。以前は社会党の党首を首相に担いで政権与党にしがみ付いたり、

最近では大阪で共産党と共闘したり、公明党と連立を組んだり、いい加減にして欲しい。と言って本当の国民を思う政党は？

川西市は拉致問題啓発にしっかりと取り組みます！！

12月定例会(12月3日) 川西市議会 中曾千鶴子

北朝鮮人権侵害問題啓発週間・北朝鮮人権侵害、拉致問題について、小中学校での教育現場の現状と課題についての2件を質問しました。

まず、拉致問題啓発について。川西市長、副市長、そして総合政策部長、市民環境部長の胸にはブルーリボンバッジが輝いていました。感謝です。市民環境部長からは、北朝鮮による人権侵害問題・拉致問題について、川西市出身の特定失踪者・秋田美輪さんについて、北朝鮮当局による拉致を始めとする人権侵害問題の解決について政府及び地方公共団体の責務を明記した「川西市人権行政推進プラン」の中で「拉致問題など北朝鮮当局による人権侵害」の課題の内容をしっかりと認識をお示しいただきました。

川西市における今年度の北朝鮮人権侵害問題啓発週間の活動の内容と今後の活動について

- ① 拉致問題啓発パネル展示
- ② 市民へ北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」のDVD貸し出し
- ③ 手作りブルーリボンバッジを市民に配布
- ④ ブルーリボンバッジを市長・副市長・総合政策部長・市民環境部長など、部長級がつける。所管課の職員もつける。

12月3日の時点ですべて皆さんがつけてくださったっていました。感謝感謝♡

- ⑤ 広報誌で啓発 7万部全戸配布
- ⑥ 川西市ホームページに掲載 啓発週間の主旨、啓発事項

⑦ 広く拉致問題についての関心と認識を深めるため、啓発グッズを媒体とする周知(啓発週間のDVDを実施。卓上ミニカレンダー(川西市作成)1000部

全国の都道府県や政令都市ではイベントなどの取り組みはなされますが地方の市町村レベルではまだまだ各地で啓発があまりなされていないところも多い中、川西市の取り組みは高く評価できます。阪神間、特に尼崎なども今年度は取り組んできています。川西市の取り組みが阪神間、兵庫県下、全国にモデルケースとして広がればいいなと思います。

市民環境部長は、「川西市がしっかりと啓発をすることが重要で」というご答弁をいただきました。そのことが他自治体にも影響を与えていると思います。

私からは、新しく作られて劇場公開が全国に広がって上映される「めぐみへの誓い」についてアピールするつもりも、

来年度以降に川西市でも上映や教育現場での利用を検討してほしいと伝えました。

また、教育推進部長からは、川西市立小中学校における北朝鮮拉致問題に関する教育の実施の有無と実施の内容、教員への研修状況についてお答えいただきました。

川西市の学校の10校の教職員が北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」のDVDを視聴し生徒・児童への拉致問題人権教育の参考にされ、また社会科の授業などで子どもたちにも教育が行われているとお答えをいただきました。

また、拉致問題の解決のためにはこれまで拉致問題について触れる機会の少なかった若い世代への啓発が重要な課題と、政府拉致問題対策本部が行った令和2年度拉致問題に関する教員等研修(オンライン形式)に、川西市の小学校の先生が受講されたとのことでした。これは教育委員会が指示したわけではなく、先生方が自主的にネットで探してご受講されたとのこと。意識の高い先生がいらっしゃることがたいへん嬉しく、川西市の教育の未来に希望が持てます。

また「コロナ禍での小中学校での教育現場の現状と課題についてお聞きしました。が、歴史上はじめての緊急事態宣言後の学校休業ですが、川西市の教育委員会、現場の先生方の 感染症対策の徹底 授業時数の確保、行事の工夫 子どもたちの心身のフォロー、学びの保障のための必死の努力で、子どもたちに

大きな変化や問題がおきておらず、不登校が減り、豊かな心を育む音楽教育や道徳教育も工夫しながら実施されているとのこと。川西市の子どもたちが元気に学校に通えている様子に安心をしました。

これからも拉致問題啓発に真摯に取り組み、苦しむ人や子どもたちを守りに寄り添う川西市であってほしいと私も頑張っていきます。

教育行政のあり方について

令和2年9月議会一般質問 9/30千葉県議 田沼たかし

次に、教育行政のあり方について伺います。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」いわゆる地教法が、平成29年に改正され、教育行政に民意が反映される仕組みとなりました。これは平成29年の大津市いじめ自殺事件がきっかけとなり、形骸化した教育委員会制度を見直すための改革でしたが、私はある意味この地教法を改正するために、かつて国政に挑戦しました。事なかれ主義・前例踏襲になりがちな、教育委員会による教科書採択やいじめ対応を、正したかったのです。ゆえに衆議院議員時代も、この改正に最も心血を注ぎました。大津市のご遺族にも会いました。熱い議論を経て、

制度は一步前進しました。しかし、地方の現場で適切に運用されなければ、宝の持ち腐れです。そこで、3点伺います。

【Q】平成26年の地教行法改正がなされた理由・背景をどのように理解しているのか。

【答弁総務部長】

○それまでの、教育行政に民意が十分に反映されていないといった課題等に対応するため、地方公共団体の長と教育委員会が、協議・調整することにより、教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることなどを目的として、改正されたものと認識している。

【Q】総合教育会議の議題は、誰がどのように選定しているのか。

【答弁総務部長】

○総合教育会議は知事が招集し、教育委員会と、教育に関する大綱の策定や、教育に関する重点的に講ずべき施策等について協議等を行う場とされている。○会議の議題は、その都度、必要に応じて知事が選定しており、平成27年度は大綱について協議し、平成28年度以降は大綱に掲げた6つの教育の基本方針のテーマ沿って毎年協議を行っ



千葉県議 田沼たかし

ているところ。

【Q】平成27年10月に策定された千葉県教育の振興に関する大綱について、これまでの改定状況はどうか。また今後の予定はどうか。

【答弁総務部長】

○平成27年10月に策定した現在の大綱は、子供たちの豊かな人間性、郷土と国を愛する心や日本人としての誇りを育むこと、熱意あふれる教員の育成など、教育の根源的、普遍的な考え方を盛り込んで策定し、子ども達をはじめ県民に広く周知している。

○引き続き、県民の理解をいただきながら、教育委員会とともに施策の展開を進め、光の輝く教育立県ちばの実現を目指していく。

本県の「大綱」は制定以来一度も改訂されておらず、今後も未定、とわかりました。また「総合教育会議」の議題選びは知事、このことで、私も議事録に目を通しました。毎年、大綱の6つの基本方針のうち、1項目を選び、よい議論もなされています。しかしそれがどう大綱の修正につながっているのか？ 現場の施策につながっているのか？ 表現は悪いですが、井戸端会議に終わっていないか？！ が非常に懸念されます。大綱は「人間としての生き方などの教育の根源的・普遍的な考え方を子どもたちや県民にシンプルにメッセージとして届けたい」「子どもたちや保護者に伝わり、県民が教育への意を強くしていくもの」となるように言われて、平成27年、策定されました。そこでお尋ねします。

【Q】大綱を県民に伝える継続的な取組は、どのようなものがなされてきたのか？ また教育現場には、どのように徹底・浸透させているのか？

【答弁総務部長】

○これまで、県民だよりや教育委員会の広報媒体である夢気球、県ホームページへの掲載に広く県民に周知してきたほか、幼稚園・小・中・高等学校・特別支援学校や各教育関係機関等へのポスターを配布し、見やすい場所に掲示してもらうなど、教育現場にも大綱の浸透を図ってきたところ。

次に、大綱の基本方針4点目「千葉県民、そして日本人として、郷土と我が国を愛する」とともに、日本の歴史を理解し、伝統と文化を尊重し、日本人としての誇りを持つ心を育みます」とあるが、森田カラーで大変いいと、個人的には思っています。そのために中学校歴史・公民教科書採択において、それに最も相応しい教科書を採択することが重要であると考えます。個人的には、県立中学校で採択されている育鵬社の教科書が最もふさわしいと考えており、この点で、県の教科書採択の現場には大綱の内容が浸透していると思います。しかし、県内の市町村で、育鵬社の教科書を採択している自治体が一つもありません。これを鑑みると、残念ながら、市町村の教科書採択の現場には十分浸透しているとは言えないようです。そこでお尋ねします。

【Q】市町村の教科書採択において、大綱の内容をどのように反映させているのか？

【答弁総務部長】

○市町村教育委員会が行う教科書採択については、通知により適切な指導助言を行っている。

○この通知により、教科書を選定する際に考慮すべき事柄として、大綱を踏まえて作成された第3期千葉県教育振興基本計画に適合しているものを選びよう示している。

県民周知も十分と言えませんが、現場への浸透は極めて心許ないです。この法改正は、ご答弁の通り「教育行政に民意を反映する」ためのものです。知事部局としては、大綱が単なる作文総合教育会議が単なる井戸端会議に終わらないよう、厳しく主体的に教育現場を主導していただき、「大綱」及び「総合教育会議」を生きたものにしてほしいのです。例えば、大阪府では、「基本方針」ことの主な課題」という資料を総合教育会議に示しています。さらに、「大綱」の「事業計画」を作成し、期間と数値目標を掲げて、「大綱」の内容の進捗管理を徹底しています。

★田沼所感(議場では発言していません)

森田知事の、愛国心を育成する方針などには、大変賛同しているのですが、教育行政としてそれが徹底されているとは、到底思えません。そんなに教育委員会は、簡単には変えられない、巨大組織であり、また事なかれ体質の強い組織です。だからこそ、せつかく制度化された、総合教育会議や大綱を駆使して、厚い岩盤を、少しずつでも崩していくって欲しかったのです。ぜひ

とも要望を前向きにつけいれて欲しいと、切に願います……!

究極の「政治の見える化」の1つ目は、主権者教育についてです。

「公のために立ち上がる若者を増やす」ことが、私の悲願です。そうなれば日本の将来は安泰と信じるからです。そのためにも、この社会を守るために、先人の多くの犠牲があったことを伝える、歴史教育の改善に、打ち込んできました。しかし直接、若者の力が必要であり、また社会の一員としての使命を伝える、主権者教育にも私は大変期待してきました。ところが全然効果があがっていない! そこで主権者教育について伺います。

先の公職選挙法改正により、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。私が国会にいた頃、ちょうどこの是非が議論されていました。当初私は、この引き下げには、反対でした。なぜか? 権利の付与には、義務の遂行が、伴わなければならないからです! その関係に変化が無いのに、権利付与だけ先行しても、失敗する、と考えたからです。その考えを改めたのは、主権者教育に、期待したからです。文科省は、高校生の主権者意識を育む教育をやる、国家の一員としての公民たる自覚を育む、と宣言しました。私は感動しました。まさにこれこそ、これまでの日本の教育に欠けていたものだ! と、考えを改めたのです。

しかしあれから数年経ちましたが、結果はどうでしょう? 過去3回の1

0代の国政選挙投票率は、平成28年の約50%、平成29年の約40%、令和元年の約35%であり、全体平均以下です。高校生たちの意識が高まっている様子も特に感じません。正直、裏切られた想いです。

主権者教育を受けた世代が、上の世代よりも明らかに、自分たちが国を町をつくるんだ! という意識、国家地域の一員としての自覚を強く持つ! 当然選挙の投票率も高くなる。政治家志望者も増える! それぐらい劇的に変わらなければ、主権者教育の意義もありません。ジョン・F・ケネディ大統領の「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何をできるのかを問うて欲しい」これが本質だと思います。我が国の将来は非常に厳しいと私は考えます。だからこそ、皆が主権者として、国に貢献する必要があります。今、必須の教育ではないでしょうか?!

そこでお尋ねします。

【Q】国政選挙における18歳の投票率が下がっており、一層の主権者教育が必要だと考えるがどうか。

【答弁：教育長】

○公職選挙法が改正され、高校生の18歳が選挙権を持つことになったが、国政選挙の10代の投票率は、平成28年の約50%、平成29年の約40%、令和元年の約35%と低下傾向にある。

○県立高校では、公民科の授業や特別活動等で主権者としての政治参加の指導をしているが、県の昨年度調査では、模擬投票など実践的な学習活動を行った学校は約35%、外部機関との連携した

学習を行った学校は約36%にとどまっている。

○今後、令和4年の成年年齢の引き下げも踏まえ、主権者としての資質の育成は、喫緊の課題であり、県教育委員会では、生徒が自らの判断で、有権者としての権利を行使できるよう、主権者教育を一層推進していく。

究極の「政治の見える化」の2つ目は、子供をふやす政策、中でも出生率の目標設定について。

今年はいくつで、出生率も低下していると聞いていたため、大変懸念していました。そこで、出生率の現状と、向上のための打ち手の進捗を、確認、追及しました。昨年も質問しましたが、私はこの問題を非常に深刻に考えています。昨年の我が国の出生数は、89万の千人と、一昨年から5万人以上減りました。合計特殊出生率は、1.36と、前年(1.42)よりも大きく低下しました。本県でも昨年の合計特殊出生率は1.28

とのことで、引き続き、全国平均以下です。「コロナ禍で少子化が更に進むとの予測もあり、ますます待ったなしです。出生率・出生数について様々な議論があることは承知していますが、せめて「国民希望出生率」である1.8を念頭に、本県としても、覚悟を持って取り組むべきではないでしょうか? そのためには、しっかりと出生率の数値目標をたて、それを絶対に実現すべく、知事の不退転の決意と強いリーダーシップのもと、全庁一丸で取り組むべきではないでしょうか? 昨年の私の一般質問で、この

ことを要望しましたが、動きがないので、改めてお尋ねします。

【Q】千葉県子ども・子育て支援プラン2020などの個別計画ではなく、最上位の計画である総合計画に出生率の数値目標を入れるべきと考えるがどうか。

【答弁：総合企画部長】

○ICT化やグローバル化の進展などにより、個人の価値観やライフスタイルの多様化が進むとともに、働き方への意識などにも変化が生じる中、結婚や出産などに係る意識も変わってきている。

○このため、県では、県民の妊娠・出産・子育てに対する希望をかなえられるよう、「子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合」や「保育所等の待機児童数」などの数値目標を掲げ、子育て世代へのサポート体制づくりに取り組んでいるところ。

○総合計画における目標のあり方については、県民の皆様と共有し、力を合わせて実現を目指す視点から、国や他の都道府県の事例なども参考にしつつ、更に研究していく。

「意識が多様化」という、言葉で逃げているように感じます。内閣府が令和2年3月に発表した「地方自治体における少子化対策の取組状況に関する調査」によると、合計特殊出生率に関する目標について、「自治体独自の目標設定値あり」と回答した割合は、都道府県では91.6%、市区町村では90.2%で、いずれも約6割となっている。……

そこでお尋ねします。

【Q】国はもとより、他県や、県内市町村でも、総合計画に出生率の数値目標を入れて自治体もあるが、本県ではなぜそれができないのか？

【答弁：総合企画部長】

○出生率も含め、総合計画における目標のあり方については、県民の皆様と共有し、実現を目指すという視点でも、研究をしていく。

「なぜできないのか？」の答弁になっていない。全く理由がわかりません。去年も同じことを質問したのに何も進んでいない。研究なんか要らない、これは覚悟の問題です！ 本気で何かを達成したいなら、検証可能な数値目標を設定すべきです。そして達成できない場合は責任を取る。その覚悟が、迫力、緊迫感となり、困難を乗り越える力になるのではないのでしょうか！？ 今回出生率についても、他県はやっているのに、なぜそれが千葉県ではできないのか？！ やる気がない、逃げているとしか思えません。

【要望】責任を取るのには、究極的には、知事しかできません。知事、再考を、要望致します。

★田沼所感(議場では発言していません)

今回はつくづく、千葉県政の企画行政が、危機感不足、覚悟不足だと痛感しました。まったく答弁の中身がありません。子育て支援課など、各当局は努力は頂いています。しかし総合企画部所管の、計画自体が、中途半端過ぎて、存在意義すら怪しい。これでは出生率向上など、望むべくもない、と

無念なおもいのです。これはトップリーダーの姿勢によるものも大きいです。引き続き、知事に、政治決断を求めています。

「政治の見える化」、最後の9つ目は、児童虐待防止、特に児相の機能強化、システム構築について。

これも昨年も議会質問をしたテーマです。県議選で「子供を増やそう」と訴えた私としては、「子供を守る」ことも同じく使命だと思っています。何の罪もない子供達が、犠牲とならないためにもパンク気味の児童相談所の機能強化は待たなすです。特にシステムを新たに導入する局面でしたので、機能強化につながるよう、質問しました。

児童虐待防止についてお尋ねします。この件も昨年質問しましたが、質問以降も悲しい事件が絶えません。ぜひとも児相・警察の連携のもと、虐待死根絶を目指して頑張ってもらいたいです。

そんな中、本県では、児相と警察の情報共有をも可能にする新システムを導入することということなんです。これは期待したいと思います。また、様々な悲しい事件の背景には、児相現場職員の皆さんが過重負担でパンクしていた点があります。このシステムが負担軽減に寄与することを、心から祈っています。ただし、システムはただ導入すればいいというものではありません。私は会社員時代にクライアントの会社にシステムを導入する仕事を何件もやってきましたが、現場の意見を踏まえて使いやすいものになっているか、今ある課題を解決できるものになっているか、丁寧かつ詳細に検

討する必要があります。そこで質問。

【Q】新システムの仕様決定において、現場である児童相談所の意見をどのようどの程度の頻度で聞き取りをしたのか。また、不安の声はないか。

【答弁：健康福祉部長】

○昨年度には、児童相談所業務の実態や課題などについて、書面調査やヒアリングにより合計6回、意見聴取を行ったほか、児童相談所の担当職員で構成する1丁委員会において、新システムの仕様について意見を聞いたところである。また、大きな不安の声はなかったものと承知している。

【Q】新システムの仕様における「警察との情報連携」との記載は、全件共有ができることを意味するのか。また、そうすべきと考えるがどうか。

【答弁：健康福祉部長】

○児童相談所と警察との情報共有では、児童の迅速な安全確認につながるなどの効果があると考えられるが、その一方、業務量の増大などの課題もある。

○新たに開発する児童相談所支援システムの仕様書等については、警察との情報連携について幅広く対応できるように準備しているところであり、今後、児童の安全を守るために効果的、効率的となるよう運用方法や情報の範囲などを検討していく。

新システムにおいて、児相と警察との情報連携について幅広く対応できるように準備していることは、良いことですが、つまり「全件を共有する」かは未定ということなんです。また、児相の現場の声として、「警察との情報連携」という話は寝

耳に水」という話も聞いております。そこでお尋ねします。

【Q】「警察との情報連携」は、どのような情報を、どのように共有するのか？また、この点について、児童相談所の意見は聞き取りされているのか？

【答弁：健康福祉部長】

○「警察との情報連携」については、現在、警察との協定に基づき、重篤な虐待事案や、転居等によるケース移管事案などの情報を、書類や口頭により共有しているところである。

○今後、新システムの開発に当たり、共有する情報の内容については、まずは協定の内容を基本とした上で、その範囲や運用の詳細などを、児童相談所職員の意見も聞きながら、警察と協議してまいります。

これは答弁になっていません。現場に聞き取りをしたのか？と聞いたのです。こういう答弁ということ、つまり現場の意見を聞いていないのだらう、と理解しました

★田沼所感(議場では発言していません)

今回は特に現場との連携について、きちんと担保するよう、求めました。システムに期待するがゆえに、頓珍漢なものが出てしまっただけいけない、この思いからです。また警察との情報連携も、システム導入を機に、大きく進展できるのではないかと期待しています。率直に言って、答弁は物足りないですが、しかし私が見張っているという「クサビ」を打ち込んだ部分もあると思います。

川内時男校長の教育宣言

徳島県立中学校校長 川内時男

<http://100ors.info/katudoukiro/ku/nakama/R2-1-17kawauti/top.htm>

26 我が国を支える日本人の「集団性」と質の高い労働力 (5/5)

我が国は世界でも希なほどに便利で快適な国です。当たり前のように水道水が飲めて、郵便物は当然のように届き、女性は平然と夜の街を歩きます。社会は精密機械のように機能し、警察官から理不尽な暴力を受けることがなく、また権力者の悪口を言っても逮捕されることはありません。多くの日本人はこれを当たり前のように思っているでしょうが、こんな国が他にありませんか。これらは日本人だからこその出来るのです。こう言えば「そんなことではないか」と思われるかも知れませんが、また「集団性」などと言うと条件反射のように「戦前の軍隊教育」と拒絶反応する人がいます。しかし9年間を海外で暮らして分かったことですが、これは日本人の質の高い労働力があればこそ出来る奇跡なのです。

「日本人の労働力の質の高さ」と言えば、多くの人は職人がもつ「匠の技」を連想するかも知れませんが、それも労働力の質の高さでしょうが、今私が言っている労働力の質というのは、「労働力の信頼性」ということです。具体的な例でお話しようと思います。

私がチリ・メキシコにいた頃に何度も経験したことです。衣料品専門店で購入物をする場合、店員と話をし購入する品物が決まると、まず店の奥にあるカウンターで金を支払い、領収証を貰い、それを商品受け取りカウンターで渡して商品を受け取るという、ややこしい手順を踏みます。つまり客一人が服を買うのに客に対応する店員、金を受け取る店員、商品を手渡す店員と、3人もの別々の店員が関わるのです。

「大都会の役所ではあるまいし、なんでこんな非効率なことを」と不思議に思っていました。ある日系の方から話を聞いて納得しました。

「客との対応、現金の扱い、賞品の受け渡しを一人の店員に任せると、商品や現金をネコババするなどの不正が起るから」ということでした。つまり店の経営者は店員を信用していません。学校の事務員に「××色の画用紙を買ってくるように」と頼んだら、数日待っても画用紙が届かない、本人に聞いてみると「頼まれた色の画用紙がなかったから」と言います。

「それならそうと、店にいるときなぜ学校に連絡してこないのか」と聞くと「そんなことは言われていないから」と言っていて平然としています。言われたこと

以外は一切しない・・・全く子供の使いそのものです。いや日本なら小学生の子供でも、それぐらいの気は利かせるでしょう。昨日や今日に雇ったおばちゃんを彼らから見れば信じられないことですよ。それほゞ日本人の労働力の質は高いのです。大事なことは、原動力は教育（学校教育だけは限りません）の力だと言っています。

私は断言します。街をのろついている茶髪の兄ちゃんでも中南米へ連れて行けば間違いなく「超」がつくほどの優等生です。こういう若者を数多く輩出している日本の社会・・・まさに「教育は国の礎」です。

27 「臨界期」と子供の成育 (5/6)

「臨界期」という言葉を聞いたことがあろうでしょうか。動物行動学者の間ではよく知られた言葉ですが、教育界ではあまり耳にしたことがありません。「臨界期」というのは動物が成長する過程において、ある能力を身につけることが出来る限られた期間のことです。その期間を逃した動物は永久にその能力を身につけることが出来ません。例えば生後間もない子猫を暗闇の中に置き、一定期間光の刺激を与えないでおくと、子猫はその後明るい場所に出しても生涯目が見えないという話は有名です。これは、ある期間（臨界期）に光の刺激を与えなかったことで、光を感じる脳細胞が「光を感じる能力は必要なし」と判断し、自ら視覚の神経細胞を成長させなくなるとい

によります。また生後7週間に満たない子犬を親兄弟から切り離すと、その子犬は群れる習性が育たず、もはや群の中に戻しても仲間に入らないうまひができません。他の全ての犬に戦いを挑んだり、怯えたりするようになるそうです。鳥が羽ばたきを覚えて空を飛べる能力を身につけられることにも臨界期があり、その期間を逃すとその後はどのように筋力が発達しても空を飛ぶようにはなりません。

ヒトの発育にも臨界期があり、絶対音感や社会性、言語（特に発音）の習得などはこの臨界期と密接に関連しています。ですから臨界期を抜きにして教育を語ることには出来ないのです。ということで、学校教育においては子供が身につけるべき能力とその臨界期について理解しておくことは極めて重要なことです。しかし現代の教育界では全くそれに関心がないように見えます。

「霊長目ヒト科の子」である子供にとって絶対に欠かせない能力、それは「仲間と群れる能力」、つまり「仲間に入って人間関係をうまく構築する能力」でしょう。社会性を養うためには、幼少期に仲間と群れ遊ぶ体験が欠かせません。この群れ遊ぶ体験をしなかった子供は、群から引き離された子犬のように、仲間との友人関係をうまくつくる事ができず、群になじめなくなるのです。少子化が著しい現代ですから、大人はできるだけ子供が群れ遊べる機会を作るよう心がけなければなりません。

各位。各団体等からの報告。ご意見

731部隊の復活と細菌戦の研究を

R2-12/8 京都北口の神主 中村重行

ケンカは「やられたらやり返す。次はやられる前にやる」これは世界の常識。昔、テレビのプロレス中継で、力道山が相手にボコボコにやられる。最後に空手チョップで相手を倒す。テレビを見ていた人たちはスッカッとて家路についたものでした。ところが現代はやられてもやられても「話せばわかる」「署名運動でサラワシタ人も取られた領土も帰ってくる」その根拠は「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して(日本国憲法)。誰を信頼するの?」今さら憲法第9条改正の問題では無かるう。日本国憲法の前文だけを見てもこの憲法が日本国民のために作られたのではないことは歴然としている。(話はそれました)

無傷ではおれません。

最近自衛隊員の訓練と成果で、能力を上回る相手航空機にも自衛隊は対処している。と言はれることがありますがそのような自衛官個人の技術に頼ることだけでは正しい判断ではありません。鍛錬は大切ですが相手を上回る武器を持たすことが専守防衛を国是としてきた我が国としては大切なことです。もう近隣諸国の「信義と公正」が信頼できなくなった今、国民を守ることは日本に手を出したらタダでは済まない。そのように周辺敵国に思わさなければ、何時も政治家が口にする「国民の安心と安全」など歯の浮くような言葉ではないのです。細菌からの防疫も国防の大きな目的です。そのためには関連する細菌の研究は自衛隊にとっても欠かすことは出来ません。コソソリ少ない予算で、やりくりするのではなく経済大国日本のメソソソにかけて堂々と資金を投入すべきです。始めに書いた「やられたらやりかえす。次はやられる前にやる」ガキのケンカも国の防衛も原則は同じなのです。

要人の会食

悪徳不動産屋の独り言 坂口久夫

R2-12/28

「ゴートラブル」の一時休止、「会



【写真】坂口久夫氏

食は5人以下で「言っているのに総理自らが銀座の高座の高級ステ

ーキ店に8人で・・・、そりゃあ国民は怒るわなあ、とマスコミも野党も騒いでいるけど忘年会と言ってもタダの飲み会なんかでなく、これからのコロナ対策なんかも話題にはなっているだろうし、そりゃあ話せば会議室で、とも思わない。本音も出るだろうから。まさか個別に相談して、なんて悠長なことはやっついたらないもの。まあ、一階も一緒だった、というのが気に入らないけど。

でもねえ、総理だよ、我々一般人とは立場が違うんだから、そんなことで国民に我慢を強いておいて「と思いつのが間違い。むしろ、攻撃しているほうがアホ。菅さんもこは世論や支持率なんか気にせず開き直ればいいのに。反省の弁を述べたりの謝罪をするから突っ込まれることになる。ただ、こんなところに来て菅さんもプレッシャーで、(後出しジャンケンでなく)やはり総理の器ではなかったみたい。官房長官としては最高に能力を発揮するタイプの人だけど、総理には向かない人。

ゴートラブルをストップした菅さん。そりゃ坂口さんがお気に召さなくても、二階さんに説明も必要でしょう。二階さん

は観光族のドンだから。8人が集まった目的、その辺の兄ちゃんやおばちゃん忘年会とはわけが違う。「食事付会議」を「会食」と呼称しただけの話。むしろ、食事は手を付けなかったかもしれない。マスコミがどのように書くかが。3日ほど前、弊会理事長、副理事長、その他の名で近くのレストランで牡蠣バーベキュー会。

「牡蠣とワインのバーベキュー会をしますから集合!」とだけ言ってお声掛けをさせていただいた。ああだからこうだから、と言ってお集まっていたくより、この方が楽しいでしょ。そしてそれだけで十分、お声掛けをした意図が伝わるメンバーだ。今年1年間コロナで百人の会の理事会は開いていない。打ち合わせておきたいことがいくつかある。特に人事案件。私なりに思っていること、そのことの内諾を得ておきたかったのだ。だから集まっていた。」「牡蠣とワインの会」と称して。我々の食事会(我々は我先に食べただけ)もし批判されるなら批判してくれ。但し、何も言え無い立場の総理と違って、私は10倍返しするよ。菅さんにどのような意図があつての会食かは知らない。しかし何の考えもなしに会食に参加することなどありえない。「総理だよ、我々一般人とは立場が違うんだ」ここがわからないといけない。わかっていながら、おもしろおかしく、相手が何も言えないことを良いことに、正義面で批判し視聴率の種にするマスコミ。そんなマスコミ

に誤導されてはいけません。
菅さんは「総理にに向かない」とまでは私は言わないけど、「大丈夫か」って不安になるよね。立場のある人の集まり、100%食事会などありえない。我、牡蠣とワインの会、本場に食事会だと思いきや、ノー天気というか、マスキな奴も1名いただけ。

「死刑執行は6ヶ月以内」の意味
R2-12-13 政経調査会 榎泰智

東京お台場のタワーマンションでフィリップ人女性を殺害し、2018年に死刑が確定していた野崎死刑囚が拘留所で病死した。確定後1年に渡り死刑が執行されない現状に対し、所謂死刑容認派から聞こえてくるのは「さっさと死刑にすればよい」「何故、長期間において無駄飯を喰わせておくのか」「死刑囚に無駄な医療費を使うな」という不満の声だ。

刑事訴訟法においては確定からの1ヶ月以内に執行することが眼記されているが、実際にはその通りに運用される事は無い。

この6ヶ月0というものはある種、死刑囚の人権を擁護する規定でもある。更生を目的とした刑務所における収容とは異なり、死刑囚は拘留所において単独で拘留される。受刑者同士の会話やスポーツ・演芸鑑賞などの娯楽もない。外部との手紙のやり取りや面会も親族等に限られ、外部との交渉を絶たれら幽閉状態におかれる。その状況で

「今日、執行されるかもしれない」という恐怖と日々向き合う。故にまともな人間ですあれば発狂して当然である。このような過酷な状況故に、執行まで持ち堪えられない拘留期間は1ヶ月が限界でよ、という事ができよう。にも拘わらず、死刑制度反対を主張する勢力との妥協や駆け引きのテクニックとして不当に執行期間が先延ばしされているのが現状。というか、大方は拘留所内で病死・老衰死してくれるのは待っているのだから、死刑以上に残酷である。「自分は死刑なのだからさっさと執行してくれ」、という死刑囚に対しては本人の意思を踏みにじるという懲罰的措置により執行が行われていない。

好例は昭和49年の平塚「アノ騒音殺人事件」の大浜松三死刑囚。4の年間に渡り拘留され現在62歳、認知症により意思の疎通もできない状態で拘留され続けているが、それ以前より長期間の拘禁状態における精神障害を負ってきた。「本人も自分がだれか分からない状態では執行ができない」、と言っているのは権力側にとって都合の良い言い訳となっている。大浜死刑囚に対しては逮捕直後から同情的世論も多く、控訴していれば死刑は回避されていた公算が強いかった。しかし、無期懲役になることを拒否して弁護士に相談せず勝手に控訴を取り下げていた。

死刑制度の存続は当然であるが、確定からの1ヶ月以内の執行を厳守することが死刑囚に対する人権の尊重にも繋がる。ただし、拘留所内である程度の自由な行動を認める事。刑務所に準じた死刑囚同士の会話・交流。屋外での運動。外部との手紙・書簡のやり取りの自由。部外者との面会の自由。

希望により執行日の告知を受けられる。執行方法の選択(絞首刑・薬物注入・電気シヨック)の自由。私の立場からもう一点追加するなら、事実上の終身刑である無期懲役判決を受けた者は死刑かどちらかを選択する自由を与えられるべきだろう。

山口 中嶋文雄

まさ やすとも 様
おっしゃる通りだと思います。殺された被害者の親族の痛みを思うならば、早期処分が当然です。法務大臣の怠慢です。規定に反して伸ばして居るのならばその法務大臣の報酬から生かしている無駄な経費を差引く必要がある。殺された親族の思いを遂げるには即死刑または即釈放し、民間に処置をさせる手もある。釈放された死刑囚に対しては民間人が手を下した場合には追及をしない・・・この掟を設けておく事・昔の仇討である。死刑反対の法務大臣を任命したならばその時点で総理大臣は即クビですよ。この死刑囚如きに経費を割いてはならない・・・と私は思います。

**ゆづりくん、ケチな予算
びびきたな、はやぶさ2**
R2-12-10 ナニの激オ「おばちゃん

もはやニエスは日本人の敵、と云うてもええと思いますが、そうは言っても中におる人はたくさんいて、一応まともな

番組を作つてるところもあるにはあると思います。特に科学系はレベルが高いように思います。私はどうしても見たい番組があるので、忌々しいと思いつつも受信料は、不本意ながら払うてます。

そして一昨日(12/8)BSの特番で見たのが「世界をリード 日本的小惑星探査」密着 はやぶさ2の舞台裏」です。小惑星「りゅうぐう」で採取したサンプルがこの地上に戻って来るという大成功は、世界に誇れる日本のニュースでした。日本、頑張つてるやん、とみんなが大喜び、と。

その興奮冷めやらぬタイミングでの特番でしたが、この中で、はやぶさ2のプロジェクトマネージャーの津田雄一さんが、めっちゃ大事なことを言うてはりました。長いですがコピペさせてもらいます。

武田：この「サンプルリターン」を支えたもう一つの要素が、技術の結晶です。こちらは、はやぶさ2に詰め込まれた数々の装置なんですけれども。津田さんはこれを、「お弁当箱」と表現されているのですが、どういふことなんでしょうか？

津田さん：お弁当って日本特有の独特な、いい文化ですよ。お弁当って非常にコンパクトで、その中にたくさんおいしいものが色とりどりの詰まっています。しかもお財布に優しいというところで。これは、探査機というのは非常にリソースの限られた中で、特に「サンプルリターン」ですと、多機能でなければいけない。それから、コン

パクトでなければいけない。もちろんコストに入らなきゃいけないので、低コストでなければいけないということ、まさにそういういろいろな色とりどりの機能を、一つの箱に詰め込んで、ごいことをやる、という意味でお弁当箱っぽいなど。これは、日本人の特色がよく出た探査機の作り方になっているな、と感ってこういう例えをしました。

めっちゃうまいこと言ってますね。せやけど、私が一番大事やと思たのは次のこの部分です。

ただ、ひとつつけ加えさせてくださいと、これは必ずしも技術的には、好きでそうやってるわけではないと、やむをえず、というところがあるといところも、申し添えておきたいと思います。限られた予算、NASAとかヨーロッパなどに比べると、(日本は)極端に小さいお金の中でこういう挑戦をしていかないと、世界に打って出られない、そういう科学ができないんですね。その中でわれわれは必死に考えて、こういうことが実現できたんですが、本当はもっと大きいリソースがあれば、もちろんもっとすごいことができるという自信を持っています。

ええか、財務省。ええかげんケチるのはやめろ！欧米と比べて日本は、かけてるお金がケチ違いに少ないんや！ようこんな予算でここまでできたもんや。有難く思え！そしてすぐに予算を一ケタ増やせ！・・・津田さんは上品な人なんで、こんな言い方はしりませんが(笑)言いたいことはそ

うことやと思います。20年、30年にわたって続く、財務省の緊縮財政は、いよいよ危機的なレベルにまで日本を没落させて来ていると思えます。あらゆる分野において、日本の現場にはお金が足らん！のです。そしてそのお金は実は、国には何百兆円もあるんです。政府が出したらええだけの話なんです。まあこの話は長くなるからまたにしますが、いすれにしても、さっさと予算を増やさなさい、という話です。この津田さんは、最後のところでもしっかりと「人間界」というか「予算や組織のしからみ、そういう制約の中で実現していく挑戦も大事だと思えます」と、「予算」をしっかりと強調してはりました。

そしてもう一つ、少し前にはやぶさ2号に関連して、こんな報道がありました。「はやぶさ2」成功を祈る日本の町工場 探査支える職人技)。

はやぶさ2の本体には、さまざまな機器を取り付けるのに、約500本の特殊ねじが使われているそうです。それを開発、製造しているのが、埼玉県羽生市にある従業員20人ほどのキットセイコーという会社なんやそうです。そのねじはほとんどが手作業で作られているそうです。そしてもう一社。横浜市金沢区の住宅街の一角にある従業員80人ほどの下平製作所も初代はやぶさに続き、はやぶさ2の土壌採取装置「サンプラーホーン」と、試料が入ったカプセルを地球に送り出す「カプセル分離スプリング」のばねをつなぎ合わせる部品約8000個を製作した。

世界最先端の宇宙技術を支えているの

が、こういう町工場、中小零細企業やというところに、めっちゃびっくりですね。たぶん欧米やと、こういう会社はすべてに製品をばらばらに高く売ってポロ儲けして、大企業やら金融ベンチャーらに身売りしたりするんとちゃうやろか。

いかに日本めなあと思いました。たぶん、こういう素晴らしい中小企業、町工場は日本にはまだまだいっぱいあるんやと思えますね。コソコソと技術の粋を極めながら、注文してくれる大企業にはなるべく従って、儲けはほどほどにとりあえず家族や社員が食って行けたらええ、みたいな。

せやけどいつまでもこれではあかんのや。菅内閣に取り入ったアトキンソンとかいう外人が、日本の中小企業は効率が悪から減らさなあかん、などと吠えてるそうですが、こんでもない外人ですね。違つんや、今やらなあかんのは、財政出動なんや。日本人はいつもギリギリのところでも頑張ってしまうんや。

この構図は、歴史で言えば「インパール作戦」を思い起こさせますね。作戦自体は、敵のウラをかいてイギリス軍を駆逐し、「援蒋ルート」(中国)の蒋介石軍を支援するアメリカ、イギリスからの軍需物資を運搬する経路)を断ち切ることができたかも知れなかったけど、いかんせん、兵站のことが全く考えられてへんかったので、戦闘やうて餓死、病死によって日本軍は壊滅した、と。

大東亜戦争は、アホな軍事官僚に、優秀すぎる現場の兵士が殺されてしまったということですね。そして今また日本人は、アホな財務省のせいで亡ぼされよう

としてるわけです。アホな上司に優秀な部下、の構図ですね。もうやめにして欲しいです。

実は日本ではずっと前から、金はんぼでも(それなりの限度はあるとは言え)出せるんや、とわかってる人はわかって、それで動こうとしたら、ウラの勢力に殺されてしまったのが、もしかしたら田中角栄、小淵恵三、橋本龍太郎、中川昭一、やったりするわけですね。麻生くんも安倍ちゃんも実は知ってるんやと思えます。そりゃあ命は惜しいわな。

私ら日本人は、もっともって賢うならなあかんと思えます。いよいよトランプ大統領は、そんなウラの勢力に戦いを挑みました。今はもう、戦争中なんです。戦時は国家予算の何倍ものお金を使わんと、勝たれへんのです。第三次補正予算のシヨボさを見て絶望的になります、みんなて声を上げ続けましょう。とりあえず100兆円出してみたいと。

今は戦時中、の話は今日(12/10)、小浜さんが【小浜逸郎】進行中の世界戦争に目覚めよ」で書いてはりますものごっつい勢いで世界が変わって行きそうです。

はやぶさ2無事帰還 白本の技術の証明 軍需技術に転用を!

12/6 京都北山の神主 中村重行

はやぶさ2が地球から太陽の距離の35倍・52億キロの往復を果たして還ってきた

連合艦隊各艦の予定・活動報告

NPO法人百人の会

●弊NPO法人百人の会は、第14回(通算100)定期勉強会・理事会がコロナウィルスのため中断、アクセルとブレーキ両方に足を置いたままの状態となっており、日程はもう少し状況を見て決定しご連絡いたします。

編集後記

【コロナニアミス】

12/5

ニュース等でお気づきの人もいると思いますが、私の事務所が入居しているビル内の、障害者支援施設(トイレを共有)でクラスターがおき、全滅→歩手前。私も空白間接触者。明日PCR検査。睡から検体採取のことでホッとしている。9月に鼻に綿棒を突っ込まれ、二度とこ免だと思っただから。つばならいくらでも……。保健所の見解は「その程度の接触では検査に及ばず」とのことでしたが無理に頼み込んだ。ただ、保健所が相当パニックしているようだ。

結果は「陰性」でした。お騒がせ！その前10日間に私と接触のあった人約20名に、全員電話をかけ、「私がコロナに感染しているかもしれない。熱を気にしてほしい。少しでも熱があったら病院へ行ってほしい。」と話しまし

た。きつと、「何してんねん。」とお叱りを受けると思いましたが、皆さん「知らせてくれてありがとう。」とお礼を言われました。勿論電話するとき躊躇しました。でも私に「隠す」という選択肢はありませんでした。陰性でホッとしています。

今、大阪では吉村知事のコロナ対応に相当批判があるようだ。当然だ、トップの運命。皆、愚痴の対象にしたいのはわかる。しかし貴方が感染症を何年も研究してきたのなら意見を言つのもいい。ところがほとんどの人は

このワイドショーやいい加減な新聞記事から得た情報でしかない。自治体においては首長(国においては総理)に、一番多くの賛否やあらゆる角度から情報が集まる。その中で判断をされている。少なくとも直接(首相は間接)選挙で多数を取って就任した知事だ。その知事を批判するということは、最多数の府民を敵に回す覚悟はあるのか。「メンテーター」ごときが無責任に物を言つな。今は吉村知事にどのような協力ができるか。府民一人一人がそれを考えるべきではないのか。そして風が去った後、吉村知事の政策に批判されるべきことがあったなら、選挙で彼を落とす方がいい。今は知事を批判するべきではない。吉村さんは動かないからいいが。府民一丸となつて、吉村知事を先頭にコロナと戦う時だ。知事として、最近敵の正体がかなり

わかってきたが、初期のころは手探りの状態。エー、ヤーでやっているのだ。今だけは、大好きな髭の隊長に逆らわせていただきます

12/28(火) 日刊スポーツ

大阪府の吉村洋文知事(49)が8日、府庁で取材に応じた。陸上自衛隊出身で「ヒゲの隊長」で知られる自民党の佐藤正久参院議員(のり)が自身のツイッターで「自衛隊は便利屋ではない」との投稿に対し、吉村知事は自身のツイッターで反論したところについて説明した。

吉村知事は、「オレが一番に打つ」とフクチン接種に手を上げた。私は「2番目にやっつて」と手を上げた。

今回の教訓は、何かわからないが、見えない線が一本ある。「コロナはそれさえ超えなければ絶対感染しない。」急に「コロナが身近になった、マスク

【宛名印字機購入】

12/10

私の生業は学習塾。生徒の教材やDM等の作成機材は全部そろっています。と

原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等とごんメールでお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は500gです。また100g程度余裕がいただけますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

●弊紙は購読料は頂戴しておりません。

ころが買ったのは皆バブルのころ。順にガタが来ています。

さて、弊会には簡易印刷機でM情報を刷っていますが、2年ほど前について印刷機が止まりました。新調するに150万円位。それで公民館の貸印刷機で刷っています。ところが今回貸印刷機が印刷度の最新鋭機種。印刷の鮮明度が格段に向上しています。だから、こんなことを書く、また村田氏が「シツクを止めて明朝体を使え」、とねじ込んできそうですが、彼がこのコメントを読まないよう祈って……。

今後は安物の機材を買うより、高価な貸印刷機を使うほうが賢明と考えています。

また、宛名印字機もつづれかけて困っていたところ、神奈川のN氏より資金援助を頂き購入。これでひと安心。御礼申し上げます。

※ 選挙等の大量郵便物の宛名印字、引き受けます。1時間2000枚程度印字可能。

増木

活動資金の協力をお願い

郵便振替 090-3710-4815 MASUKI情報デスク
銀行口座 090-0245647 MASUKI情報デスク
三井UFJ銀行 口座番号 00443249 普通 増木重夫